



申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	まびっこキャンプ
事業概要 (事業内容を簡単に)	真備町有井地区の10家族の親子を対象に、美作市上山集落の大芦高原キャンプ場での1泊2日のキャンプを実施。
活動(予定)期間	2019年 8月 22日 ~ 2019年 8月 23日
活動(予定)場所	大芦高原キャンプ場
受益者数	直接受益者(25名) 間接受益者(30名)※いる場合
<p><b>事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入)</li> <li>・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか</li> </ul> <p>【背景】</p> <p>■子供の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災後、真備地区外からの通学により、登下校が送迎バスで決まった時間に下校しなければならないことや、遊び場がないことなどから、友達と思い切り外で遊ぶ機会が減っており、子供の心身のストレスが大きくなってきている。</li> <li>・様々な物資支援や炊き出しにより、対価価値形成が崩れている。</li> </ul> <p>■親の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災前にはなかった子供の学校への送迎、子供を預ける場所がないこと、真備以外のバラバラの場所での生活により親同士の交流が少なくなってきていること、ストレスを抱えた子供のケアなどによる親の心身の疲れ・ストレスが深刻である。</li> </ul> <p>【目指すゴール】</p> <p>■2日間のキャンプで、子供たちは大自然の中で一緒に参加している友達と思いっきり体を動かして遊び、普段とは違う非日常の中で、自分たちの力で一つ一つを作り上げていく体験を通して、新しい発見の中からたくさんの事を自然に学べる時間となり、今現在のストレスが良い方向へ発散される。そのような子供たちの楽しみながら成長している姿を見ることが、保護者の喜びへと繋がり、また、期間中少し子供と離れる時間をとりながら、普段はできないリラックスした自分のためだけの時間をとることで、普段抱えているストレスを軽減でき、リフレッシュできることを期待している。</p> <p>■キャンプ体験という自宅とは違う、物質的に不便な中での生活体験を通して、精神面・スキル面の向上を目指し、様々な環境への適応能力の高い人材の育成を図る。</p>	

## 事業の実施内容

・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

■大芦高原キャンプ場で1泊2日のキャンプ

■2019年8月22日23日

### 【キャンプ内容】

22日

- 8:00 真備集合
- 10:00 キャンプ到着後、親子でテント設営
- 12:00 昼食
- 14:00 木こりワークショップ
- 15:00 薬草ワークショップと夜ごはんづくりとデザート作り
- 18:00 夜ご飯 自由時間
- 20:00 キャンプファイヤー フラダンスワークショップ

23日

- 8:00 朝食
- 10:00 【子供】竹のワークショップ 【保護者】リラックスヨーガ
- 13:00 昼食
- 15:30 親子でテント片付け
- 16:00 キャンプ場出発
- 18:00 真備到着

### ◇料理作り・薬草取りワークショップ

食材調達から自分たちで行う体験を通して、自然の中に食べられるものがあることを知り普段食べているものが自然の中から頂いているという実感の中で感謝の気持ちが育まれる。キッチン設備のない場所でも工夫をして料理ができるという体験ができる。

### ◇木こり体験（薪割り、チェーンソー体験）◇キャンプファイヤー

自然の中で火をおこす体験を行う。普段の生活の中での火の重要性や、人の歴史の中で火が神聖なものとして扱われていたことと同時に、その他、水や風、動植物など自然の中に存在するすべてのものが生活の糧になっていることを、活動を通して実感できる機会とする。

### ◇フラダンス

日本と同じ自然崇拝が背景にあるハワイアの踊りで神や自然に対して祈りを込めて踊る。曲を通じて自然や人々に愛や感謝の気持ちを感じたり、みんなと気持ちを一つにして踊ることで一体感が生まれる。ハワイアンの人たちの考え方はポジティブで、フラダンスを通じて前向きなエネルギーに包まれる。

### ◇親へのストレス開放リラックスヨーガ

ヨーガとはサンスクリット語で「つながり」を意味するもの。普段は仕事や家のことに追われている親御さんを対象に、自分だけに集中できる時間を作り、自分自身とのつながりを感じストレスから解放されることを目指す。

### ◇竹のワークショップ

真備町産の竹を使い水鉄砲を作る。真備では竹がたくさん育てられていることを知り、その竹を使って遊ぶ道具を自分の手で作り出す。

## 事業の実施体制

- ・ 事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

### 【実行委員会】

三戸 龍家（イメージアッププロジェクト）  
出井 徹（竹あかり制作チーム）  
岡野 紘子（美作市役所「上山集落」）  
永田 愛（岡山NPOセンター「まびシェア」）

### 【連携団体】

- ・ 一般社団法人 上山集楽
- ・ NPO 法人 英田上山棚田団

### 【当日スタッフ】

- ・ 看護師 3 名
- ・ 教員 2 名
- ・ 竹あかり制作チーム 5 名
- ・ 川崎医療福祉大学看護学部 学生ボランティア 10 名
- ・ 上山集落チーム 5 名

## 事業実施後の展望

- ・ 助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望
- ・ 助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

今年美作市上山で実施するが来年以降も定期的にキャンプを行っていく中で、真備町内（美しい森など）での実施も視野にいれている。

コンセプトとしては、

「D.I.Y」=Dreams In Yourself

「夢を描く」+「創り上げる」=「楽しい」

Do It Yourself—自分たちで創りあげてを大切にする—

Dreams In Yourself—自分たちの中の夢を楽しむ—

二つの「D.I.Y」を通して、自然の中で大切な人と共に、楽しみながら生きる力をつける。キャンプが終わったとき、少し成長した自分に出会い、いつもの何気ない日常と、自分と一緒にいた人たちがかけがえのない存在だったことに気づいて、日常生活に戻っていただけてくれる時間を提供できるようにしていきたいと思っています。

## その他

- ・ その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	¥870,610	
自己資金	¥40,000	
事業収入 ・参加費	¥43,000	
寄付金 ・天満屋労働組合	¥100,000	
美作市役所「上山集落」経費	¥5,000	
合 計	¥1,058,610	

2) 本事業の支出

費 目（必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
フラダンスワークショップ	¥25,000	
竹を使ったワークショップ	¥123,120	
薬草・料理作りワークショップ	¥55,000	
木こりワークショップ（上山集落メニュー）	¥37,500	
親へのストレス開放リラックスヨーガ	¥33,000	
キャンプ場使用料 大人 20 人	¥30,000	
キャンプ場使用料 小人 20 人	¥20,000	
レンタル寝袋 40 人分	¥40,000	
レンタルマット 40 人分	¥20,000	
レンタルテーブル 6 個	¥6,000	
レンタルテント（6 人用）3 個	¥9,000	
レンタルテント（4 人用）7 個	¥14,000	
レジャーシート 6 枚	¥3,000	
キャンプファイヤー 1 セット	¥6,000	
食費 薬草・料理作りワークショップ以外の食費	¥135,000	
レンタル調理器具 1 セット	¥10,000	
送迎費用 日の丸タクシー	¥111,240	
保険代金（子供）	¥16,000	
雑費	¥50,000	
一般スタッフ	¥70,000	
専門（医療・教育）スタッフ	¥70,000	
学生スタッフ	¥60,000	
合 計	¥1,058,610	

備考欄

--